

すけるくんシリーズ

高い透明感を持つ樹脂粘土



すけるくん

- 独特の透明感を持つ樹脂粘土です。また、乾燥後も折れにくい高い柔軟性を兼ね備えています。
- その特性を生かして従来に無い質感、意匠の作品作りにお使い頂けます。
- ご使用の際に粘土を良く練り込み、作品は穏やかな条件下でゆっくりと自然乾燥させて下さい。

透明感と光沢が増すコート液

- すけるくんで作った作品に一層の透明感を付与する専用コート液です。
- 造作物の厚みが薄いほど、より効果を発揮します。
- コート液が濃い場合は、少量の水を適宜加えて良く攪拌し、薄めてお使い頂けます。
- 乾いてから重ね塗りを行うと、より効果的です。



すけるくんコート液

単品でも使える便利な粘土



すけるくんブレンド用ネンド

- 良好な作業性と発色、折れにくい特徴を兼ね備えた白色の樹脂粘土です。
- すけるくんに少しずつ混ぜる事で、白く着色せずに透明感の調整が出来ます。
- ブレンド用ネンドは単品でも幅広い樹脂粘土の造作、造形にお使い頂けます。

用途多様な液状タイプ

- 着色して文字や模様を描くの便利な液状のすけるくん。
- 重ねて塗り付ける事で意匠のボリューム感を向上させたり、樹脂粘土作品の表面に塗る事でフルーツの瑞々しさを表現したり、ユーザー様のアイデアによって様々な応用が可能です。



液体すけるくん

すけるくん®

sukerukun cray
Made in japan

透明度の高い画期的なネンド



すけるくん®

sukerukun cray
Made in japan

透明度の高い画期的なネンド



製法特許

透明粘土「すけるくん」で作る
おしゃれカワイイこものたち

発売元:アイボン産業有限会社

江東区三好3-11-5 TEL.03-5620-1620 FAX.03-5620-1621
e-mail.aibon-sangyou@tempo.ocn.ne.jp

すけるくんで作るおしゃれカワイイものたち

「すけるくん」の魅力は、その繊細な透明感と上品さ。自由に色をつけ、乾かして透明感を出すことで、幅広いジャンルの作品作りが楽しめます。



ジュシー・フルーツ

大好きなフルーツモチーフを透明粘土で作ったら、こんなにかわいい仕上がりになりました。



蝶のネックレスとチャーム

フェミニンな蝶のモチーフは、さわやかなブルーのグラデーションに仕上げて、夏にぴったりのアイテムになりました。



海のなかまたち

手軽に作って楽しめる海の中のなかまたち。ミニサイズの、ちょっぴりファニーフェイスのお魚たちがほっこり優しい気持ちにさせてくれそう。



大輪のチョーカー

パールトーンでまとめた、フェミニンなチョーカーは、ぐっと目を引く大輪のお花が表情豊か。



おしゃれなお菓子たち

思わず触ってみたいくなるような、ミニサイズのお菓子たち。キャラメルやキャンディーの包み紙も、ゼリーのカップもコンフィチュールのビンも、全部透明粘土できています。



チューリップ・カップ

パステルカラーが優しい印象を与えるチューリップ。シンプルなカップ&ソーサーと組み合わせて上品なインテリアに仕上げました。

透明粘土の基礎テクニック

作品を作り始める前に、知っておくと便利なテクニックをチェックしておきましょう。

材料

すけるくん

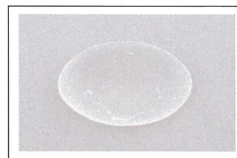


乾くと透明になる特殊な樹脂粘土です。最初は白色ですが、乾燥するにつれて透明度が増していきます。乾いても一定の柔らかさを保つので、壊れにくく繊細な作品作りに向いています。薄めに形作る方がよりしなやかで透明感が出ます。

すけるくんコート液



コート液をかけたもの



コート液をかけないもの

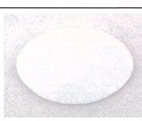
すけるくんで作った作品の透明度をさらに上げる専用の液体です。成形した作品のひび割れを防ぐ効果もあります。作品の状態にもよりますが、厚みのある作品は早めに、薄い作品は乾いて透明感が出てからコート液を塗るとより効果的です。

透けかたの例



少量の粘土を丸めて、厚さ1mmほどに平らにプレスします。

プレスした直後

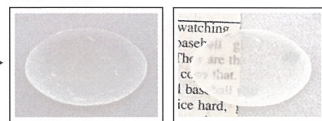


1日後



端から乾燥していきます。

1週間後



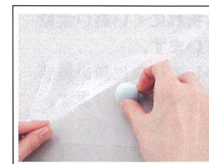
ほぼしっかりと乾燥し、透明感が出ました。文字などを下に置くくと透けて見えます。

すけるくんのポイント

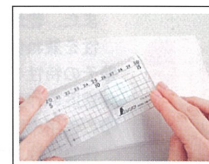
- 1 粘土が乾燥するまでの時間は季節や湿度、作品の厚みなどで変わります。様子を見ながら乾燥させましょう。大体5日～10日程度かかります。
- 2 しっかり乾燥すると2割ほど縮みます。サイズの決まっているものは大きめに作っておくとよいでしょう。
- 3 乾燥するとどんどん固くなっていくので使わない粘土はすぐにポリエチレンラップで包み、空気に触れないようにしておきます。
- 4 乾燥していくにつれて油分が浮いてきますので、そのつどティッシュで拭き取ります。コート液を塗ると落ち着いてきます。
- 5 着色する場合は、少量の絵具やインクを粘土によく混ぜ込みます。乾燥すると、色が濃くなりますので、お好みに合わせて調節して下さい。

粘土の扱い方

プレスのしかた



1/3の大きさに切ったクリアファイルの内側に着色した粘土を入れます。

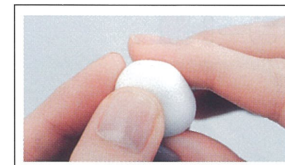


クリアファイルではさみ、その上から幅の広い定規でまっすぐ押します。



粘土をはがすときは、上のクリアファイルをめくり、下から指で少し押すようにして端からそっとはがします。

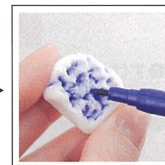
着色のしかた



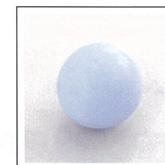
必要な量の粘土を手に取り指でこねます。



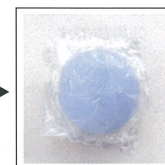
1を少しくばせ、水性ペンを押し当てて着色します。乾くと色が濃くなるので様子を見ながら着色していきます。



着色した部分を内側に折り込むようにしてよくこねます。



ムラがなくなるまでこねたら丸くまとめます。すぐにラップで包み、乾燥を防ぎます。使うときはここから少量ずつ出して使います。



成形のしかた

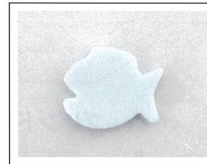
A クッキー型を使う



クッキー型はあらかじめ薄くハンドクリームを塗っておきます。

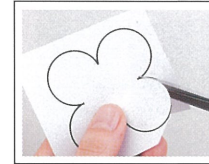


薄くプレスした粘土にクッキー型を押してあてます。

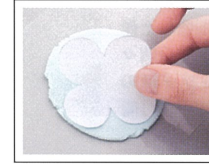


クッキー型を使って成形できました。

B 図案を写して使う



図案をコピーしはさみで切りとります。使用する紙は光沢のあるものが最適です。



薄くプレスした粘土に、作った型を置きます。



型に沿ってはさみで粘土を切りとります。